

私の受験対策は、基本的には、学校の先生方や同志社に進学した先輩からのアドバイス、学校での特設課外講習や夏期合宿勉強会、模試、通信添削、気に入った問題集や参考書、赤本などを約1年半、出来るだけ素直に真面目に泥くさくやってきただけなのですが、その中でも私が勝手に大切にきて、合格につながったかなと思うことを厳選してお伝えします。

〈勉強面〉

①自信を持てるくらい何かを極める！

解いた英語の長文と同志社の赤本の量にはかなり自信がありました。背景知識が豊かになったし、英文や同志社の問題にも慣れて心に余裕ができました。

②コツコツコツコツ続ける！何回も何回も繰り返す！

③初見の問題や試験に慣れる！

④すきま時間も積もればなんとやら…

洗濯物干しや皿洗いなどの家の手伝いの時間やひのきしんの合間にも何かしら勉強していました。

⑤学びに対して貪欲になる！

なんでもいいから学べることはないかをいつも意識しています。ちなみに私の大好物であるチーズのことをよく調べていたところ、なんと、入試本番の英語長文の1題が見事にチーズについてでした。

〈精神面〉

①「根性を持て！」 Never, never, never, give up!

これはある先生がかけてくださった言葉。昔から根性なだった自分から変わるために、諦めたり投げ出したりすることだけは絶対しないと決心しました。

②Appreciate everything around you!

これもある先生からの言葉。「起こること全てが今の自分のためなんだとポジティブに受け取るべし！」大体そういう意味です。ある時友達に「受験楽しんでるな～」と言われ、そんなつもりはなかったのですが、妙に嬉しかったので、その時からできるだけ意識して受験生活を楽しみました。

③お気に入りの音楽や言葉で自分を盛り上げる！

④おつとめをする！いい事をする！

合格するためにするというより、人として一生大切にすべきことなのだと、受験を通して私は改めて実感しました。

⑤周りの人からの期待や応援を力にする！

本当に辛い時、お世話になり支えてくださったたくさんの方々へ合格の報告をして恩返しをしたい、喜んでもらいたい、という気持ちが1番私を突き動かしました。

得られるものが単に知識や合否だけではないのも大学受験の醍醐味だと私は思います。その全貌をここに書きつくすことはできないのですが、やった人にはきっと分かるはず。また、先生方や先輩が私に素敵なアドバイスやサポートをしてくださったように、私も皆さんのために、もしできることがあればさせてもらいたいなと思っています。何かあれば、ぜひ！